

# ご存じですか？ごみのゆくえ

問い合わせ先 環境政策課 ☎042・724・4379

日々の生活から排出される町田市のごみを焼却した灰(焼却灰)は、日の出町の方々のご理解とご協力によって設置された最終処分場で処理されています。最終処分場では、町田市を含む多摩地域25市1町の焼却灰を受け入れ、全てエコセメントにリサイクルされています。

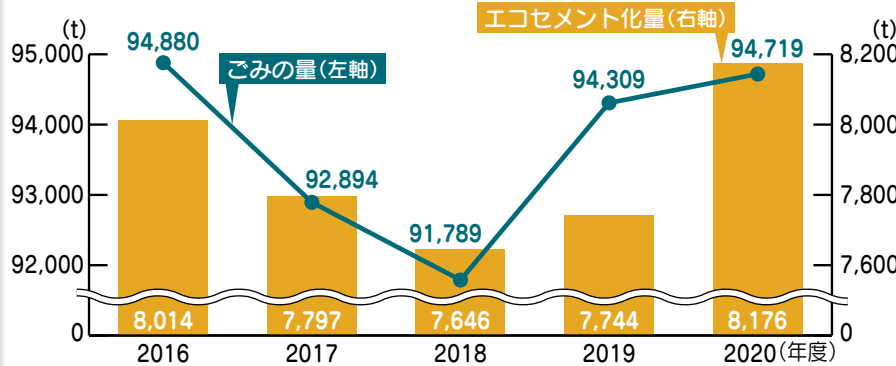
リサイクルをしているとはいえ、ごみの焼却やエコセメント化の過程では多くの二酸化炭素が発生します。そのため、まずはリサイクルより先にできるリデュース(ごみの発生抑制)を、一人一人意識することが大切です。

地球温暖化を防ぎ、自然と生活環境を保全するため、ごみの減量に今後も一層のご協力をお願いします。



## 町田市のごみとエコセメント化量

2020年度のエコセメント化量は全体で78,783tで、そのうち町田市は8,176tと全体の約1割にあたります。近年は減少傾向にありましたが、2019年度からは増加に転じています。



## エコセメントとは？

エコセメントは焼却灰を原料として製造されるJIS規格にも定められた安全なセメントで、道路の側溝や縁石として使用されています。

市内では薬師池公園や芹ヶ谷公園、尾根緑道(忠生732号線)の改良工事などに使用しました(歩車道境界コンクリートブロック)。

エコセメント化事業は、埋め立てられる焼却灰の量を減らして、二ツ塚処分場を長く有効に活用するとともに、多摩地域のリサイクルを推進することを目的として実施されています。

# 降雪時の資源とごみの収集

- 雪が降っているときや、路面が凍結しているときなどには、以下のことにご注意ください。
- ビン・カン、有害ごみの収集用カゴ、ペットボトルの収集用ネットの設置が遅れたり、設置を見合わせる場合があります。
- 道路状況により、収集の時間が通常とは違う場合があります。また、路面状況が悪い場合には、その地域の収集を見合わせる場合があります。
- 資源やごみを出す際に、積雪や路面凍結で思わぬケガをするおそれがあります。

降雪時は無理に出そうとせず、できるだけ次回の収集日にお出してください。

悪天候時のカゴ等の設置状況や収集の遅れの状況等は、以下でお知らせします。

- 市ホームページ
- ごみ分別アプリ
- メール配信サービス

# 災害時のごみの出し方

問い合わせ先 3R推進課 ☎042・797・7111

大規模な自然災害が発生すると、大量のがれきりや使用できなくなった家具・家電などのごみが発生します。公衆衛生の確保や早期復興のために、排出時の分別が重要です。

災害時は、災害ごみと生活ごみを分けて、それぞれ指定の場所にお出してください。

## 災害時のごみ区分

	定義	出し方
災害ごみ	被災した住宅内の片付けで発生するごみ(破損した家具・家電等) 倒壊した住宅から発生するごみ(木くずや金属、コンクリートがら等)	生活ごみとは別に、指定された場所に分別のうえお出してください
生活ごみ	日常生活において家庭から発生するごみ ●燃やせるごみ ●燃やせないごみ ●ビン・カン・ペットボトル等	原則として通常通りの分別ルールで所定の場所にお出してください ※すぐに収集できない可能性があります

収集開始時期やごみ出しに関する情報等は以下でお知らせします。

- 市ホームページ
- 避難施設の掲示板
- メール配信サービス
- 市公式SNS(Twitter等)

# 事業所から出る紙ごみを減らしましょう

清掃工場に持ち込まれる事業所のごみの中には、資源化可能な紙類が多く混入しています。紙類をきちんと分別して資源化していただくことはもちろん大切ですが、まずその前に、紙ごみの発生を抑える工夫をしましょう。

- 例 ● OA紙の裏面を積極的に使用する。
- え ● 資料はなるべく両面印刷する。
- ば ● 2in1印刷を利用する(1枚の用紙に2ページ分のデータを割り付けて印刷する)。
- … ● ペーパーレス化(電子化)する。など